

# LET'S MAKE HOME

キッチン何色に  
しようかな？



家族みんなで  
入れる広いお風呂が  
欲しい！



ウッドデッキで  
バーベキューが  
したい！



## 家づくりの流れ

01

契約

02

図面  
お打合せ

03

設備など細部  
のお打合せ

04

完成

05

お引き渡し  
(住み心地)

「あ、素敵なモデルハウス。ちょっと見てみる？」  
そんな気軽な気持ちから始まった我が家の家づくり。  
ローンのこと、図面のこと、内装や設備・仕様…。

実際に「パークヴィレッジ藤井寺」で  
家を建てられる、Tさんご家族に密着取材。  
商談から完成までのリアルボイスをご紹介します！

FLOW

01



## 商談・契約

初めて見学に行った時に、屋上テラスにひとめぼれ。  
「こんな家を建てたい」。そんな夢が叶うなんて  
今でも信じられないくらい嬉しいです。



「口先だけでなく、お話をきちんとお聞きして  
具体的な解決策をご提案すること。  
それを常に心がけています」。by営業担当の福嶋氏

地元で家を探されていたTさんは「パークヴィレッジ藤井寺」のモデルハウスを訪れて屋上テラスに一目惚れ。「こんな家を建てたい」。それまで漠然と考えていたマイホームへの夢がふつふつと湧き上がってきました。それと同時に、「本当に私たちでも家が建てられるのかな？」資金面も考えると、とても不安な気持ちだったというTさんは、その気持ちを素直に福嶋さんにお話しされました。「初対面にもかかわらず、なぜかすらすらと本当のことを話せたんです。福嶋さんには「いかにも営業しています」という雰囲気が全くなくて、本当に自分たちのことを考えてくれているという信頼感かな？口先だけで「大丈夫ですよ」と言うのではなく、具体的な解決策を提示してもらったおかげで、夢を諦めなくていいんだ、と希望が見え、ついに実現できたんです。福嶋さんと出会えて本当に良かったと思います」。



最初は不安だらけだったというTさんご夫妻

全然乗り気じゃなかったTさん(夫)。「モデルハウスで屋上テラスを見て、その日のうちに仮押さえをしていました」(笑)

最初はTさん(妻)に強く進められ、仕方なくモデルハウスを見学されたTさん(夫)。もともとパークキューをすることが大好きだというTさん(夫)は、屋上テラスを見て「めっちゃええやん!!」と気持ちが急変。家づくりが進むなかで「コストの壁」にぶちあたった時も、屋上テラスだけは絶対に譲れなかったそうです。また、Tさん(妻)にとっては、モデルハウスが部屋数の多いプランだった点も魅力的だったとのこと。「我が家は子どもが3人いるので、それぞれに子ども部屋が欲しいなと思っていました。へえ、こんな風にできるんだ、と具体的に考えることができて良かったですね」。



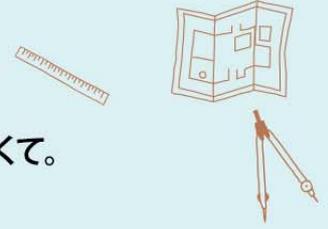
一目惚れした屋上テラスがこちら  
(「パークヴィレッジ藤井寺」モデルハウス)

FLOW  
02



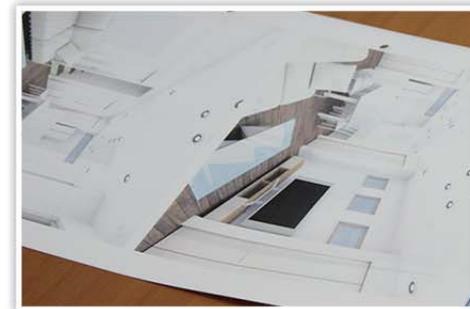
## 図面お打ち合わせ

小上さんとの打ち合わせはいつもすごく楽しくて。  
「もっと広いお風呂が欲しい」  
「やっぱり和室はやめようか」  
私たちのわがままをどんどんカタチにしてくれました。



アイランドキッチンっていいな、子ども3人と一緒に入れる  
広いお風呂…夢はどんどん膨らんで。

5人家族のTさんにとって、こだわられたのは居住スペースだけでなく、バルコニーや水廻りなど各所の「ゆとり」。「屋上テラスはあっても、毎日の大量の洗濯物を考えれば2階にも広いバルコニーが絶対欲しい」「アイランドキッチンってやっぱり憧れる。でもLDKの広さも重要」by妻。「今は一人ずつしか一緒に入れないお風呂。子どもたち3人と一緒に入れる広さが欲しい」「屋上テラスは絶対に譲れない」by夫。ご夫妻それぞれにこだわりポイント満載の家づくりがいよいよ始まりました。



こんなんも可愛い！

「100点に近づけるためには、200点、300点を目指さない。  
お客様に絶対後悔はしてほしくありませんから」。by設計担当の小上氏

「あの時、あれもこれも言っておけばよかった。そんな風に、お客様があとで後悔されるのは絶対に嫌なので、とにかくたくさんご要望をお聞きすることに徹しています」。最終的な仕上がりを100点に近づけるためにはご家族の暮らし方をあれこれ想像しながら200点、300点のご提案をするのが持論という小上氏。

例えば、「お子様が3人いらっしゃるTさんご家族なら、きっと物があふれてくるはず。玄関に入っすぐ上着がかけられるコート掛けがあれば便利だし、3人のお子様たちが並んで宿題ができるカウンターをダイニングに、洗面室にはタオルや下着などをしまえる収納を造りましょう」。アイデア満載の小上氏のおかげで、Tさん邸のプランニングも順風満帆。今日は間取りがほぼ決まる日だそうです。

間取り決定！『17畳超えのLDK』もバーベキューができる『屋上テラス』も  
子ども3人と一緒に『入れる広いお風呂』も実現しました♪

最初はアイランドキッチンに憧れていたものの、LDKの広さを優先して「壁付けキッチン」に。→→→和室をなくしてもっとリビングを広くする？→→→「対面式カウンターキッチン」に変更と、軌道修正を繰り返し、キッチンの形状が決定。そんな風に優先順位を付けながらもコストがかかりすぎないように、希望をひとつずつ叶えていく。そして今日、ついに最終図面の打ち合わせに至りました。当初望んでいた広いLDK、屋上テラス、広いお風呂、5人分の洗濯物がたっぷり干せる2階バルコニーなど、Tさんご夫妻の希望がすべて図面に落とし込まれています。次回からは、外観の色や素材、室内の壁紙や設備・仕様など、細部の打ち合わせが始まります。“楽しいけど大変”な日々はあとしばらく続きそうです。



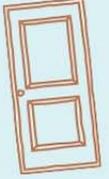
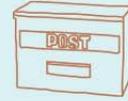
小上氏(一番右)も同じような年代のお子様を持つお父さん。

FLOW  
03



## 設備など細部のお打ち合わせ

ポストはシックな黒にする？  
やっぱり好きなオレンジにしたいなあ。  
パースに色をおとし込んでもらって、  
それでもなかなか決まらない。。



「トイレの壁紙にもこだわりたい。  
あ〜、どれも素敵で選びきれない！」

いよいよ内装の打合せも本格的になり、「楽しくて仕方ない」という妻とはうってかわって、少々疲れ気味の夫。前回の打ち合わせで、門柱の郵便受けの色を黒にするかオレンジにするかを悩まれていたご夫婦のために、カラーのパースでイメージを確認していただくことに。「う〜ん、やっぱりオレンジがいいんちゃう?!」少しずつ進捗はしているものの、決める事はまだまだ山盛りです。「そうそう、トイレも、全部同じ色じゃなくて、正面だけ柄ものの壁紙に変えたいんです。寝室は…」壁紙のカタログを見ながら、「あれもいいし、これもいいし」。結局カタログをお借りして家でじっくり検討することになりました。



こんなんも可愛い！

「暮らし方やこだわりを会話の中で確認しながら、  
設備の配置などを確認します」by 笠柄氏

「玄関のスイッチの位置ひとつにしても、右手でドアを開けて左手で押す。じゃあ、この場所にスイッチを配置しましょう。」など、お客様のふだんのライフスタイルをじっくり確認しながら、設備・仕様の細部を決めさせていただいています。お客様のオーダーをそのまま叶えるのではなく、その根拠をきちんと確認させていただくことを常に心がけています。その点、T様は、こんな風に暮らしたいというイメージをしっかりお持ちのご夫婦なので、こちらとしても提案のしがいがあるんです。あと数回の打ち合わせですが、妥協のないご提案をさせていただきたいと思います。」



設備・仕様の打ち合わせは笠柄氏と

キッズスペースが充実しているので  
3人のお子様たちもごきげんです♪

2〜3時間の打ち合わせの間、3人のお子様たちが遊んでいるのが、部屋の中に用意された、こちらのキッズスペース。靴を脱いで遊べる広い遊び場にはおもちゃがいっぱい。時々ケンカをしながらも、なんとか打合せが終わるまで3人良い子にして遊んでいます。

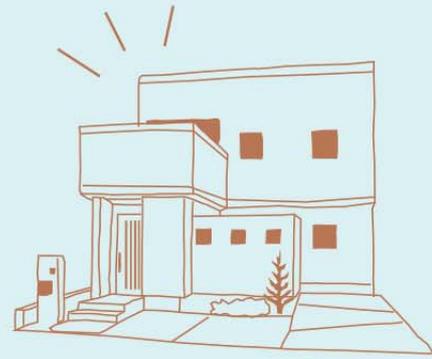


FLOW  
04 05



## ついに完成!!

何度も打ち合わせを重ね、図面や素材集とにらめっこした日々が懐かしい。  
 なんとかお正月に間に合う12月に完成!  
 年内入居ができました。



広いLDKで子どもたちは大はしゃぎ。大型TVも余裕で置けます



高めに設定された天井のおかげで、開放感もひとときわ。キッチンの高窓には、隣接する公園の緑が顔をのぞかせます。「桜の季節にはここからお花見ができそう」とTさん。無垢っぽい風合いがオシャレな床には床暖房が採用されているので、部屋全体が均一に暖まり、ほかほかと気持ちが良いそうです。

部屋はすごく暖かい。でも窓ガラスに結露はないですよ。



新居で初めての冬を越されたTさんご家族。断熱性が良いおかげでガンガン暖房器具をつけなくても暖かったとか。ダイニングの一角には、お子様たちが宿題をしたり、趣味のスペースとして使えるデスクコーナーを造作。今は水槽の中でニジマスが悠々と泳いでいます。



念願の広いオフロ完成! 家族5人で入ってます

パパの一番のこだわりだったオフロはさすがの広さに圧倒されます。「5人でも入れるんですよ」と大満足のご様子。「浴室の扉も折れ戸でなく引戸にしてもらったので掃除もラクになるかな?」とTさん(妻)





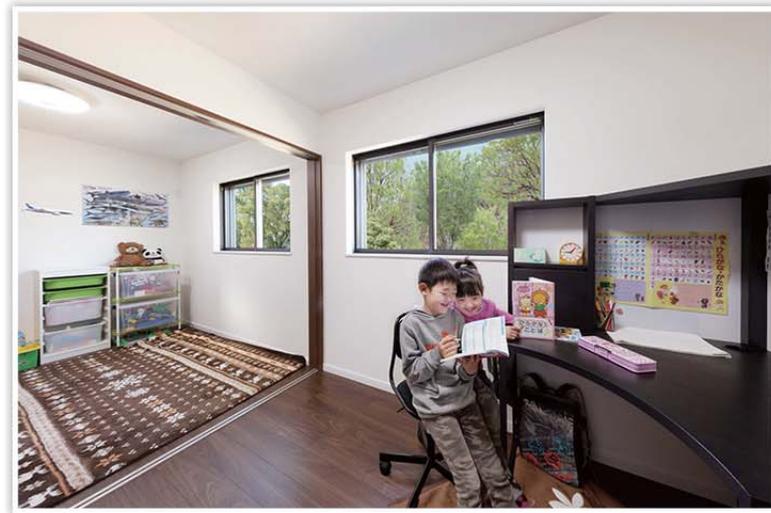
アウターは全部ここにまとめて。  
生活スタイルにマッチした玄関収納。

お出かけの際にここから取って、帰ってきたらここにしまう。玄関ホールに用意された容量たっぷりの収納にはTさんご家族のライフスタイルがしっかりと反映されています。まだお子様も小さいながら、お片付けの習慣もつきそうです。整理整頓がしやすいので部屋の中が散らからなくなるというメリットも。



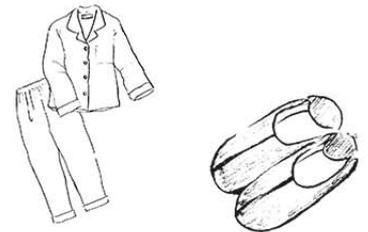
部屋から子どもたちが遊ぶ公園が見えるので安心。

公園ビューという希少なロケーションに建つTさん邸。「ここからご飯ができれば「帰っておいで〜」って呼ぶんですよ」とTさん。子ども部屋は、将来2室に仕切れることを想定して、ドアや収納などもそれぞれ別々に用意されています。



一人になれる部屋があるとやっぱり落ち着きますね。

仕事上、ご家族が起きている時に休みたい時もあるというTさん(夫)にとって、独立性の高い寝室の存在は大きいようです。「マンションの時はなかなか一人になるスペースを確保することが難しかったんですが、今はこの寝室があるおかげで疲れが取れますね」。オレンジ色の壁紙はTさんのお気に入りのカラーをチョイス



お花見も我が家の屋上で。早くバーベキューがしたいですね。



Tさん(夫)がバーベキューをしたい!と絶対叶えたかった「屋上テラス」。桜の季節にはピンク色に染まる公園を眺めながらバーベキュー。そして夏はプール遊び。季節ごとの楽しみも、この家とともに色を帯び、ご家族の歴史を綴っていきます。